

ささえーる

こもる

2023

1

月号

支え愛・人物箱

令和4年度小諸市社会福祉大会を開催しました



令和4年度小諸市社会福祉大会は10月31日、小諸市市民交流センターステラホールで開催しました。今大会は、令和2年度に策定した「第1期小諸市地域福祉計画・小諸市地域福祉活動計画（令和2～6年度）」で掲げられている「お互いさま」のところで育む支え合うまち・こもろの推進を目的に開催されました。

住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるよう、制度や枠組みを超えた連携を目指し、日頃より小諸市の社会福祉にご尽力をいただいている方々の表彰を行いました。

今後の大会につきましては、地域福祉推進の功績をたたえる表彰式は毎年開催し、「ふくし」にふれる機会を提供する講演会、パネルディスカッション、ボランティア団体等の活動を紹介するイベントについては、情報発信型の手法に企画変更し、隔年で開催します。

今後とも地域福祉の向上に向け創意工夫をしながら取り組んでまいります。

被表彰者の一覧は本誌5ページをご覧ください。また、社協ホームページでは当日の様子を動画で配信していますのでご覧ください。

1月号の主な内容

- 細谷信治会長と職員との対談
- 地域福祉活動計画について
- 拝見！地域のつながり支え合い 諸区・御牧ヶ原区
- 県・市社会福祉大会表彰者紹介
- ファミサポ講習会
- 地域支え合い活動事業説明会のお知らせ

令和5年の年明けにあたり、細谷信治小諸市社協会長と若手職員4人が対談を行いました。

会長 新年あけましておめでとございます。

今号で対談する職員は令和元年12月のコロナの感染拡大が始まった後に小諸市社協に入職をした職員です。現在の仕事の様子や今年の抱負について聞きます。

柳澤 地域福祉系の柳澤です。担当事業は高齢者の地域活動に関する業務を全般に行っています。

千葉 私は地域包括支援センターで高齢者のなんでも相談を主に担っており、コロナ禍でもオンラインの活用など相談が途切れることがないよう工夫しています。

葭原 地域福祉系の葭原です。私は日常生活自立支援事業や生活就労支援センター「まいさぼ小諸」で様々な相談を伺っています。

町田 総務系の町田です。私は経理に関する事、内部委員会運営など、社協内部のマネジメント業務を行っています。

会長 コロナで一番影響を受けているのは地域活動だと思いますが、活動上の課題はなんですか。

柳澤 会長の仰る通りコロナの影響で地域活動の開催数は減少しています。コロナをきっかけに外出する機会が減り、出かけるのが億劫になったとの声を耳にします。

会長 公民館に来なかつた人に電話をするなど、地域で確認を取り合うような顔の見える関係というのが大事ですね。

それでは令和5年の抱負を教えてください。

柳澤 地域の集いの場に積極的に参加し、顔の見える関係を築いていきたいです。従来の活動拠点だった公民館以外に新たに気軽に集える場所についても検討していきたいです。また、男性に向けたスポーツ交流などの場も開催していきたいと思っています。

千葉 私は小さな芽を見つけることを大切にしたいです。他機関から相談を受けた時など、人のつながりがまだ戻ってきていない中で、早い段階から対応できるような関係づくりが重要だと思っています。

新春対談

繋がりも大事で、民生委員もごまで動いたらいいか、このコロナ禍で苦悩されています。考えられるいろんな方法をどんどん試していくということかな。

葭原 私は「頼り頼られる関係づくり」という目標を立てています。地域での困りごとなど気軽に相談していただける関係でありたいと思っています。しかし相談の中には私たちだけで解決できない課題もたくさんあります。地域の皆さんと一緒に課題を解決できる関係を構築し取り組みたいと考えています。

会長 頼り頼られる関係っていうキーワードが出たね。問題を解決するために分野を超えた情報の把握や

共有、どう行動にかえていくかが大事だと思ふな。

町田 住民の方や、理事・評議員の皆さん、職員など、地域の方と会う機会を大事にし、気軽にお話が出来するような関係づくりが目標です。社協内の先輩や他の機関の人たち



写真左から、柳澤、千葉、細谷会長、町田、葭原（感染予防を講じて対談を実施しています）

を頼りながら、地域の人たちの目線を持って動けるような職員でありたいと思っています。

会長 理事・評議員さんって本当に小諸社協のサポーターですよ。そういう方々と身近に話ができ、何を考えているのか、些細な会話を通

じて吸収できる。気楽に話せる関係をつくってもらえれば、より人生経験豊かな人たちなのでたくさん学べると思っています。

令和5年に向けて考えるもう一つの重要なことは災害に強い地域にすることで、令和4年に市と災害協定を締結し、ライオンズクラブや青年会議所とも締結しました。これらに向けて具体的な姿を作ることが大事な取り組みになると思いますが、災害に対する取り組みはどう考えていますか。

葭原 私の担当している業務は、発災時に誰が継続し、どのように対応するのか具体的ではないことが改めて分かりました。日頃から職員間で業務を共有し、緊急時にも対応できるよう対策していきたいです。

会長 協定を締結した関係機関と連携し、発災時に具体的にどう協力関係を構築するのか、すみやかな検討が必要ですね。

町田 日頃から急な災害時にも対応できるような形を作っていくことを意識していきたいです。

また、職員の入替わりもある中で、継続した更新が課題となります。今後も様々な手法を検討し、緊急時の対応を考えていきます。

会長 課題を解決できる組織は、一部の人が課題に対して考えるのではなく、それぞれの立場からすべての人が考えられるという特徴があります。その面で小諸市社協は、全員で問題を解決していこうという意識が高いです。「課題は一緒にみんなで考える」「こんな組織を目指して頑張っていきましょう。」

地域福祉計画・地域福祉活動計画 について知ろう！

小諸市広報誌
連動記事

わたしたちは、地域福祉活動計画推進キャラクターの「うめちゃん&こうめちゃん」です。地域福祉活動計画を広めていくお手伝いをしていきます！今回は、基本施策1-1「安全安心な地域づくり」について紹介します。

「お互いが支え合う体制づくり」

小諸市には身近な地域でのつながりがあることが強み。見守りなど、今ある支え合いを大切にして、さらなる「地域福祉の輪」を広げる取り組みがこれからも必要です！毎年、各区の支え合い活動に関する事業の説明会をしています♪（詳しくは8P.）



地域福祉活動計画のキャラクター
「うめちゃん&こうめちゃん」

「災害・緊急時の支え合い強化」

災害時、社協の使命は災害ボランティアセンターを運営。災害時に備え、災害ボランティアセンターを整えられる取り組みを進めているんです！今回、市と災害ボランティアセンターの協定を締結したのもその一つ♪（詳しくはP4.）

お互いの顔が見える関係づくりは、自然な見守りや声掛けが大切になってくるね。日頃のつながりが支え合う地域づくりにつながっていくんだね！

今後も、計画についてお伝えしていきます。次号は、「健康・長寿の地域づくり」について紹介します！

赤い羽根共同募金 ご協力ありがとうございました

赤い羽根共同募金へのお協力ありがとうございました。皆様方のあたたかな心に感謝致します。

〈令和4年度 赤い羽根共同募金実績報告※ R4.12.6時点〉

- ・募金期間／令和4年10月1日～12月31日
- ・実績額／5,237,038円（目標額5,500,000円）

■状況

- ・戸別募金 = 3,992,024円（昨年度比96.6%）
- ・法人募金 = 1,067,920円（昨年度比98.1%）
- ・学校募金 = 10,149円
- ・職域募金 = 155,474円
- ・その他（募金箱など） = 11,471円

※使われ方／一旦長野県共同募金会に収納された後、県共同募金会より県内の高齢者、障がい児・者などの福祉施設へ2,553,000円が、また最終募金額からそれを差し引いた金額が小諸市共同募金委員会より各地域（区）やボランティアや福祉団体などに配分されます。

〈令和4年度 地区活動費補助金事業状況報告〉

- ・申請区数／7区
- ・合計申請額／282,979円（昨年度比97.2%）
- ・配分／各申請額を配分できる見通し
- ※補足＝配分対象は区内地域福祉の基盤整備を行う事業（限度額50,000円）

（例）区民全員が活用する施設等の整備、拡充。
区民を対象とした行事や活動における備品代等

〈令和5年度事業のボランティア・市民活動育成費申請状況報告〉

- ・申請団体数／26団体
- ・配分／申請団体には配分できる見通し
- ※補足＝配分対象は、活動に関わる経費、用具等購入費、指導者への謝礼金、研修費など

〈共同募金安心・安全なまちづくり活動公募配分事業への応募状況報告〉

- ・申請団体数／1団体
- ※補足＝配分対象は、活動に関わる経費、用具等購入費、指導者への謝礼金、研修費など（配分元：長野県共同募金よりの配分です）

今年度もコロナ禍に
関わらず多くの市民の皆様に
法人的皆様より、社協会費に
ご理解ご協力いただきま
して誠にありがとうございます
ました。また、納入にあ
りご尽力いただきました皆
様に深く感謝申し上げます。

貸出用の車いすや福祉車
の整備等に活用しています。
小諸市の福祉推進のため
にご活用させていただきます。
今後とも、社協会費の主
旨をご理解いただき、あた
たかいご支援、ご協力をお
願いたします。

令和4年度社協会費納入
実績（11月30日現在）
▽一般／7,331,100円
▽法人／280,000円

車店ホミ久諸備竹間新山製計米ヨ二動
小(株)ンユ電支工花農聞商作(株)油夕紙車
諸(株)ダニ気店場業業社所(株)印店(株)
市(株)カテイ山相長(株)同(株)越谷サ長(株)
柳(株)イ山相長(株)同(株)越谷サ長(株)
店(株)イ山相長(株)同(株)越谷サ長(株)
良(株)イ山相長(株)同(株)越谷サ長(株)
▽ズテ屋馬野▽組章万山建建1野コ
長しレ物商農井合文堂堂管(株)▽(株)日ミ
野なこ(株)(株)働自諸▽▽工▽▽(株)ガ
産小も▽▽金動支佐(株)▽(株)日▽ス▽
自(株)(株)庫車所久小(株)大測北(株)(株)
東(株)佐小整▽浅諸小栄設信▽丸

社協会費へのご協力 ありがとうございます

拝見!

地域のつながり・支え合い

諸区

介護予防教室でクリスマスツリーづくり

12月7日、諸公民館で介護予防教室を開き、松ぼっくりを使ったクリスマスツリーを作成しました。

ビーズやテープでツリーを装飾する工程では、細かい作業と思った通りにつかないボンドに苦戦しながらも、和気あいあいと作品作りに取り組んでいました。

しかし、終盤に差し掛かると、和気あいあいとしたムードは一変。皆さん自分のツリーに向き合い、黙々と作業を進めていました。作品が出来上がっていくにつれて別の参加者の作品を見ながら、ここはこうしようなどアイディアを共有していました。

作業を始める当初は細かくて難しいなどの声もありましたが、皆さん満足して作品を“お土産”として持ち帰りました。



御牧ヶ原区

歌に合わせて脳トレや体操

今年最後となる御牧ヶ原区の「健康達人区らぶ」は、12月9日に開きました。御牧ヶ原区の皆さんは大変元気な方が多く、また男性参加者が多いのも特徴です。当日は午前中にマレットゴルフで汗を流し、公民館で昼食を楽しみ、午後に達人区らぶーと活動的な皆さんです。

今月のテーマの音楽レクでも、歌に合わせて脳トレや体操を笑顔で取り組んでいました。ゲームのボーリングではストライクを出す方もいて大盛り上がり。その後のお茶会では最高齢の男性参加者を中心に昔話に花も咲き、皆さん楽しい時間を過ごせたようです。



令和4年11月4日に小諸市と災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定の調印が行われました。

東日本大震災や台風19号災害などに際し、被災地で立ち上がった災害ボランティアセンターの多くを社会福祉協議会が担い、災害ボランティア活動を通じた復旧・復興支援等に大きな成果をあげてきています。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、被災地外からの支援が制限されるなど新たな事態が生じています。そのため今後は、より一層地元関係者が主体となった協働型災害ボランティアセンター

災害ボランティアセンター設置・運営で
小諸市と協定締結

の運営が推進されています。

市内で大規模災害が発生した際に、災害ボランティアセンターの設置やボランティア活動を円滑に実施するために、市と社会福祉協議会の役割分担などをあらかじめ取り決めておくことで、被災者に対する支援活動を円滑に行えるようになります。

大規模な災害発生時には、公的な支援だけでは対応できないため、ボランティアによる支援活動が大きな力になります。平時から、相互に災害時に向けた連携・協力体制の強化を図ることで、さらなる安心で安全なまちづくりに取り組んでいきます。



おもちゃなおし隊こもろ 長野県社会福祉大会で 協議会長表彰を受賞

多年にわたるボランティア活動の功績が認められ、令和4年度長野県社会福祉協議会会長表彰を受賞しました。おもちゃなおし隊こもろは、おもちゃの修理を通して、子ども達の「ものを大切にする心」「思いやりの心」を育むことを目的に活動しています。代表の山内修さんは、「皆さんに活動を知ってもらえたら嬉しい」と話します。

ふれあいまつり 障がい者作品展

3年ぶりに開催

令和4年度ふれあいまつり・障がい者作品展は、「障がい者週間」初日の12



月3日に、メイン会場・小諸市市民交流センターステラホール、関連会場・停車場ガーデンにて開催されました。

コロナ禍で3年ぶりの開催。感染対策を講じる開催方法としました。ステラホールでは「ふれあい美術展」、「大型タペストリーツリー展示」、「みんなで作ろう！イエローリボンをツリー」を実施し、スライドショーも併せてお楽しみいただきました。関連会場は、来場者の方もイ



エローリボンへ参加して下さり、樹木に黄色いリボンの花が咲きました。

令和4年度小諸市社会福祉大会被表彰者 (順不同敬称略)

▽社会福祉事業功労者
(1) 民生・児童委員
長岡賢司、土屋多恵子、小林眞隆、高野武徳
(2) 福祉団体及びボランティア等
依田三男、大井千代子、小林定雄、フクシマの子どもサマーキャンプサポート隊、ユカレレの会、遊子の会、うら

らな会、さくらさくらイブプロジェクト実行委員会
▽社会福祉事業協助者
塩川公子
▽模範介護者
佐藤立夫、塩川典子
▽社会福祉協議会事業協力者
土屋利一、(株)クオシア、てんじん薬局グループ、

正眼院、奥田青果、(株)三映電器製作所、佐久産業株式会社、ソニック株式会社、(有)美里不動産、(株)コマヤマ、(有)みすず運輸、(株)アーデン、(株)日本ハイテック、(有)山岸設備、カネマン田村屋(有)、(株)河野メリクロン、(株)ユウワ本舗、(株)長野セキノ興産小諸営業所、信州ほしの(株)、東漸寺、クボタ重車輜(株)、三映電子工業株式会社

育児の「援助を受けたい人」と
「援助を行いたい人」を結びます

ファミサポ

令和4年度 後期講習会のお知らせ

ファミサポとは？
子育ての手助けをしてほしい人（依頼会員）と、子育てのお手伝いをしてほしい人（提供会員）がそれぞれ会員として登録し、ファミサポサポートセンターが仲介して、子育ての相互援助活動（お子さんの預りや送迎など）を行うことを目的とする会員組織です。
提供会員・両方会員になるためには、講習会の受講が必要です。育児のお手伝いをしてみたいとお考えの方は、ぜひこの機会に受講してみてください。

- 開催日：令和5年2月16日（木）、17日（金）ともに9：00～12：30
- 会場：小諸市社会福祉協議会 2階大会議室
- 持ち物：当日入会希望の方は印鑑を、提供会員または両方会員希望の方は、運転免許証など顔写真付きの身分証明証をご持参ください。
- 内容：事業説明、救急救命・心肺蘇生法、障がいのある子の預かりについて、子どもの栄養と食生活等

★申し込み・問い合わせ先：小諸市ファミリーサポートセンター（こもテラス1階）
電話 0267-31-5093 FAX 0267-31-5094
Mail : famisuppo@k-syakyo.org
ホームページ http://www.k-syakyo.org/?page_id=6935



※新型コロナウイルス感染拡大防止の為、感染状況によっては開催日が変更になる場合があります。その際はホームページでお知らせいたしますので、ご確認ください。

★譲ります★

用具名
①障がい者用イス
②剣道胴着（竹刀なし）
③パイプ式折りたたみベッド



★譲ってください★

用具名
①ジュニアシート

☆「譲ります」側の方と「譲ってください」側の方の情報のみをマッチングします。

両者が揃うまでに時間を要します。マッチング成立まで、現品は「譲ります」側の方で保管して頂きます。また現品の受け渡しは当事者同士で行って頂きます。

☆電気製品の安全と品質確認は「譲ってください」側の方の責任でお願いします。

- 譲りあい商品
 - ・壊れていないもの
 - ・無償で譲渡するもの
 - ・用具によっては未使用なものに限ります
- 問い合わせ先／地域福祉係
電話 25 - 7337
- ホームページ（右のQRコードを読み取ってください）
http://www.k-syakyo.org/?page_id=6867



※6ヵ月過ぎても残っている案件は、「ささええるこもろ」からは削除致しますが、ホームページには継続して紹介しております。また、登録頂いている全ての写真も掲載しております。

小諸市社会福祉協議会 会計年度雇用職員募集

「私たちと一緒に働いてみませんか？」

- ◆募集職種（業務内容）
 - ①相談支援専門員（障がい福祉サービス事業の相談支援専門員業務）
 - ②保健師・社会福祉士・介護支援専門員（地域包括支援センター業務）
 - ③通所サービス支援員（放課後等デイサービスでの児童・生徒への支援）
 - ◆採用人員 各若干名
 - ◆必要な資格
 - *普通自動車運転免許及び各業務における必要資格
 - ◆選考方法 書類選考と面接
 - ◆問合先 小諸市社会福祉協議会 総務係（電話0267・25・7337）
- お気軽にお問い合わせください。見学も随時行っています。

譲りあえる事業

旧小諸市高齢者福祉センター「糠塚園」 寄付作品をお譲りします

現在、旧小諸市高齢者福祉センター「糠塚園」を解体する計画が進んでおりますが、個人の方から寄贈いただいた作品が沢山あり、新施設等では展示することができない状況です。既に所有者の分かる作品は連絡して返却等をしてしておりますが、連絡先の分からない場合や寄贈者が不明の作品があります。

そこで、下記の通り譲渡展示会を開催いたします。個人で展示するなど、作品を活用していただける方は、ぜひお越しください。

譲渡展示会

- 期日／令和5年1月28日(土)・29日(日)・30日(月)
- 時間／午前10時から午後2時まで ※3日間とも
- 場所／小諸市野岸の丘総合福祉センター(小諸市社会福祉協議会)
- 規定／・個人で活用すること。転売等は禁止します。
・決定者には後日連絡します。
直接引き取りにお越し下さい。
・希望多数の場合は抽選にて決定させていただきます。

お問い合わせ

- ・小諸市高齢者福祉センター「こもれび」 電話 22-5550
- ・小諸市社会福祉協議会 電話 25-7337

(令和4年10月1日～
11月30日)



順不同
敬称略

お心遣いありがとうございます

◇社協・ぼらせんこも
ろ受付分
土屋利一、小諸ラン
ナーズ、掛川貴子、匿
名6名
(現金、食糧品、お米、
切手、ハガキ、タオル、
衣類、折り紙ほか)



小諸ランナーズ様よりお米を
寄付していただきました

編集後記

新年あけましておめでと
うございます。社協職員一
同、本年もよろしくお願
いいたします。
新型コロナウイルスが認
知され3年が過ぎ、コロナ
禍の生活様式にもかなり慣
れてきた気がします。世界
に目を向けると、記憶に新
しいのがワールドカップ。
現地では大勢の観客が密集
し、マスクをしないので応援
する姿を目にしました。日
本でもマスクの使用ルール
が緩和されてきました。が、
感染リスクを考えるとまだ
まだ簡単には手放せないも
のだと思います。
私の場合、感染対策以外
の理由でも手放せなくなっ
ています。顔の下半分を隠
せるマスク。髭が生えてい
ても「これくらいなら…」
と面倒くさがりの私にとっ
て、支度の手間を短縮でき
る欠かせないアイテムとな
なっています。
しかし、他者とコミュニ
ケーションをする際、顔が
よく見えないことに不安も
感じます。誰もかマスク無
しでも安心して交流でき
ず。早く戻って欲しいな
い。2023年はなんでも
良いと感じられる年にな
れればと思います。

社協 Q クイズ

正解者の中から抽選で3人の方に図書カードをプレゼント！
当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。

Q. お正月飾りの鏡餅に、古くから習慣として乗っているものは何でしょうか？

- ①みかん ②だいたい ③オレンジ

●応募方法：クイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、
社協へのご意見・ご要望、ささえーるこもろの感想を添
えて応募先まではがきかメールでお送りください。

●応募締切：1月31日(火) 必着
●応募先：〒384-0006 小諸市与良町 6-5-1
「小諸市社会福祉協議会広報委員会」宛
●Eメール k-syakyo@ctknet.ne.jp

(11月号の答え) ②主任介護支援専門員

「地区支え合い活動事業説明会」のお知らせ

実施日 1月24日(火)、27日(金)、31日(火)

会場 小諸市市民交流センター2階 ステラホール
※全体説明後、地区ごとに話し合える会場を用意しています。

【東南部・東部・中部】
1月24日(火) 14:00～16:00
【北大井・南大井・三岡】
1月27日(金) 14:00～16:00
【大里・西小諸・西部・川辺】
1月31日(火) 14:00～16:00
※各日最長16:30まで

※地区ごとに日程を設定しましたが、ご都合が合わない場合は別の日程での出席も可能です。ただし、区を単位とした年間計画の意見交換を行うことから、できるだけ区で出席される方向士が同じ日程で出席されますようお願いいたします。
※風邪症状がある場合、参加について慎重な判断をし、事前の体温測定、マスクの着用、手指消毒にご協力をお願いします。
※駐車場は小諸市役所第1～3駐車場をご利用ください。

災害時等住民
支え合いマップ



健康達人区らぶ



介護予防
地域交流事業



区民同士の
相互援助活動

福祉推進委員会の
運営

福祉推進委員会（区）が主体的に取り組んでいる支え合い活動

小諸市役所

小諸市社会福祉協議会



目的とねらい

対象：区長ほか区役員・民生児童委員・福祉推進委員・介護予防ささえ愛サポーターなど

「支え合える区」をつくりましょう。

健康達人区らぶや介護予防地域交流事業、福祉推進委員会、災害時等住民支え合いマップを通して「誰も孤立しない区を作る」ために、区と市役所と社会福祉協議会で協働して取り組む支え合い活動に関する説明会です。

区長をはじめ区役員、民生児童委員、福祉推進委員、介護予防ささえ愛サポーターなど地区支え合い活動に関わる皆さんで年間計画の立案を予定しています。

▼お問合せ先：小諸市社会福祉協議会 電話 25-7337